



遺伝/ゲノム看護

有森直子, 溝口満子編集・執筆. -- 医歯薬出版, 2018.

ISBN: 9784263236994

REVIEWER

医学部 人間健康科学科 4回生

看護にこれから携わっていくみなさんにぜひ読んでいただきたい1冊

これから看護師になろうと考えている学生のみなさんはぜひご一読ください！……とはいえ、ほかにいろいろ勉強しなければならないことも多く実習や記録も大変ななかで、そんなこと言われても困りますよね。ということで、I からVの各章の簡単な内容の紹介と、遺伝/ゲノム看護への現時点での興味関心別におすすめの章をご紹介しますので読んでいただきたいと思います。

Aタイプ：「遺伝/ゲノム看護ってなんやねん」という方

Bタイプ：「よくわからないけどきっと勉強したいほうがいいんだろうな」という方

Cタイプ：「遺伝/ゲノム看護はこれから本当に大切ですよね！このような本を待ち望んでいました！」という方

～Aタイプの方～

I 章「遺伝/ゲノム看護とは」・II 章「遺伝/ゲノム医療の現状」では、遺伝/ゲノム看護・医療の定義やヒトゲノム解読後の変化などがわかりやすくまとめてあります。I 章を読んでもぴんとこなければ、III 章のマンガの実践事例から読んでみるのもよいと思います。

(裏へ続きます)

492

9

A 73

医人健開架

⇒⇒⇒

～Bタイプの方～

Ⅲ章「遺伝/ゲノム看護の実践」では、周産期・小児期・成人期で看護師が遭遇する可能性が高いと考えられる場面が取り上げられています。ぜひ、Ⅲ章の自分の興味のある領域から読んでみてください。疾患や検査、アセスメントなど、基礎から学ぶことができるほか、事例がマンガで紹介されているのがこの本の魅力であると思います。例えば、性染色体異常疾患のひとつであるターナー症候群の事例では、定期診察にこられた中学生と看護師のかかわりが描かれています。何気ない場面での気づきの重要性を感じますし、この本を読むこと自体がこのような気づきのきっかけにもなるのではないのでしょうか。

～Cタイプの方～

ぜひ興味のある章から読んでいただけたらと思いますが、初めから一通り読むことをおすすめします。Ⅳ章「遺伝/ゲノム看護の実践を支えるツール」・Ⅴ章「ゲノム科学の基礎」では、遺伝/ゲノム看護の理解に必要な知識やツールについて、基礎が簡潔にまとめてあり、専門書を読む前の足掛かりになるのではないのでしょうか。

この本から得た遺伝/ゲノム看護に関する知識やヒントが、臨床に出たとききっと役に立つと感じることがあると思います。ぜひ手に取って、読んでみてください。

受理：2018-05-08